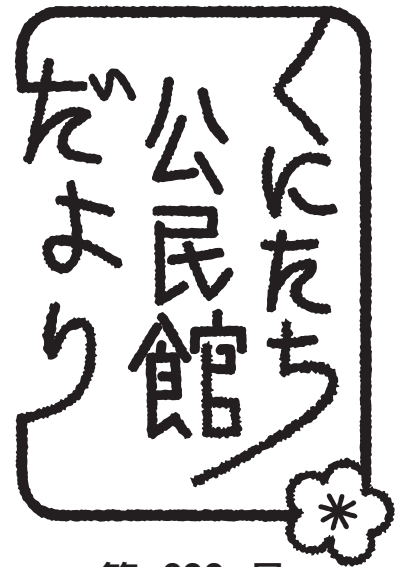
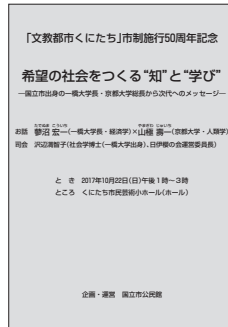


# 新しい発行物のご紹介

昨年度の公民館の取り組みなどをまとめた冊子・リーフレットができました。お読みにになりたい方は、差し上げますので、公民館へお気軽にお問い合わせください（数に限りがあります）。お読みいただき、ぜひ今年度の取り組みにご参加ください。

**希望の社会をつくる知と学び**  
市制施行50周年記念事業の一環として、公民館が企画・運営した一橋大学長と京都大学総長による講演と対談の記録を冊子にまとめました。  
**蓼沼学長（一橋大学）と山極総長（京都大学）**それぞれの専門分野のミニ講演。ともに国立市出身であるお二人による「くにたちのまちの魅力」についての対談、参加した若者からの質疑応答まで、すべてを収録しています。日本を代表する国立大学の長を務めるお二人が次世代へ伝えたメッセージとは……。ぜひお読みください。



第 699 号  
2018年 5月 5日  
(平成30年)

発行

国立市公民館

〒186-0004

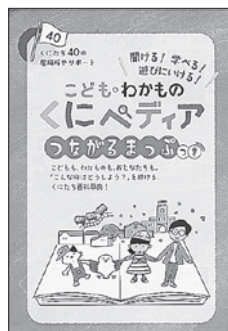
国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

**「子ども・わかものくにペディア」**こんな時はどうしよう？を助けるマップ付き百科事典を発行しました。  
国立には楽しいところがたくさんある。楽しいことを広める人もたくさんいる。そんな人たちが公民館とNHK学園高等学校共催の「つながりワークショップ」に参加して、くにペディアは完成しました。  
〔配布場所〕市役所、公民館、中央図書館、郷土文化館、北・南市民プラザ、中央児童館、西児童館、矢川児童館、子ども家庭支援センター、福祉会館、NHK学園高等学校 \*公民館のホームページからもダウンロードできます。



**くにたちブッククラブ文集**  
『世界の軌む音を聞く』  
くにたちブッククラブでは、毎年講座終了後に参加者による手作りの文集を作っています。共同で読むことで深められた読みや気づきが綴られています。  
講師の山岸郁子さんによる講義録「小川洋子『博士の愛した数式』を読む」も掲載しています。  
今年度は5月10日(木)から始まります。詳しくは下記をご覧ください。



**第62回くにたち市民文化祭記録集**  
秋の文化祭に参加した団体が、催しの成果を報告しています。市内で文化・芸術活動をしている方々の文化祭での写真も多く載っています。ぜひご覧になり、文化祭にご参加ください。日ごろのグループ活動の成果を文化祭で発表してみませんか？



## 〈くにたちブッククラブ 幻影を追う、記憶をたどる〉 井上ひさし「父と暮せば」 (新潮文庫)

講師 **紅野 謙介** (日本大学・日本近代文学)

とき 5月10日(木)夜7時半～9時半

ところ 公民館 3階講座室

申込先 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

\*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が読みを出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。

## 第63回 くにたち市民文化祭 参加団体募集中！

くにたち市民文化祭の実行委員長が決まりました。今年も展示や発表、一緒に参加できるものなど盛りだくさんです。参加団体は現在募集中です。開催時期や会場については、公民館にご相談ください。

◆実行委員長  
黒瀬 智子 (合同いけばなの会)

◆募集期間  
5月18日(金)まで



# 崖線を歩く

※国立まなびあるきの会

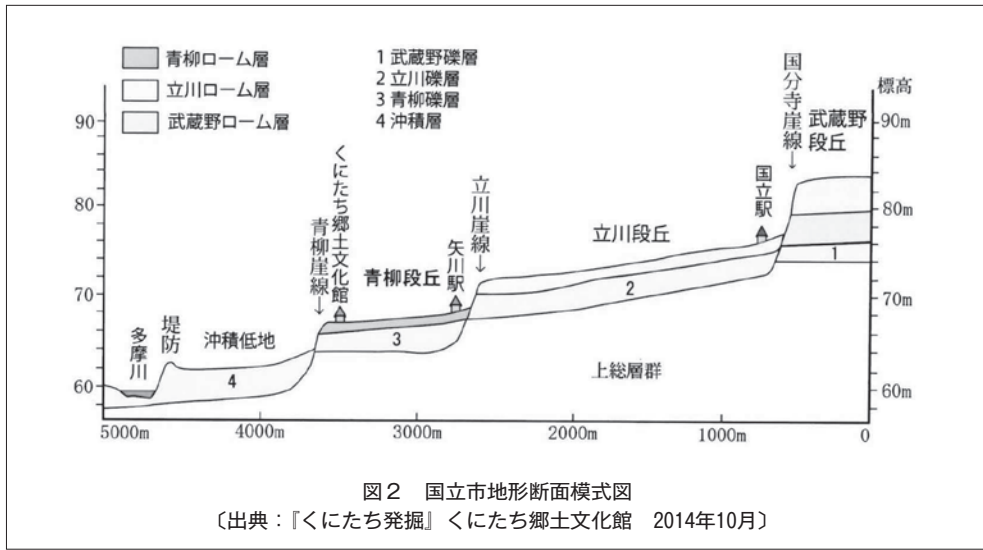
国立市は一見平坦な土地ですが、たまらん坂、谷保天満宮、城山、ママ下湧水等の凹凸が所々にあります。これは何故なのでしょう。これらの坂道や斜面は、武蔵野地域で通称「ハケ」と呼ばれている「段丘崖」で、昔の多摩川が何万年も前に大地を侵食した痕跡です。大岡昇平の小説「武蔵野夫人」の書き出しは、この「ハケ」の説明から始まっています。これらのハケは数km〜数10kmの広域にわたる崖の連なりである「崖線」の一部分です。国立市には北から、国分寺崖線（武蔵村山市〜大田区鶴の木）、立川崖線（青梅市〜世田谷区喜多見）、青柳崖線（立川市〜国立市）の3本の崖線があります。（図1参照）

古多摩川は気象や地殻に影響されて河床の高さを下げながら流れて位置を南側に変えていったため、段々と低くなる階段状の崖線が出来ました。（図2参照）各崖線の高低差は数m〜10数mあり、見晴らしがよく富士山、丹沢、奥多摩の山々が見えて景色が良好です。

崖線面に水を通しやすい層（砂礫層）と飽和した不透水層（上総層）があると浸透した地下水が湧き出して水路ができ、下流は河川や用水に流れていきます。水路やハケの周りは緑が多く、散歩するのにうってつけの場所になっています。ハケは多摩地方に生活する人々

に大きな影響を与えてきました。ハケ下に湧水のある所では、古来（旧石器時代）より人々が生活して来ました。このため、崖線沿いには遺跡が多数あり、大形石棒を出土した「緑川東遺跡」も崖線の近くにあり、江戸時代、谷保の甲州街道沿いの「清水立場」

では、湧水でそうめんを浸して旅人に提供していました。見晴らしが良い崖線には古墳が随所にあります。高低を利用して武家の館や神社仏閣を建てた所もあります。また、明治時代以降、国分寺市や小金井市等ではハケ上に別荘が建てられました。



〈地域史講座・フィールドワーク〉  
**くにたちの崖線を歩く—第1部—**  
 —まちを歩き、地域を知る—

講師 **芳賀 啓** (東京経済大学)

かつての多摩川の流れが遺した「崖の連なり」=「崖線」。くにたちを形成する三つの崖線付近を歩きながら、歴史や自然を学ぶ講座がスタートします。今回は、第1部として、座学と国分寺崖線を2回に分けて歩きます。

第1部の初回は崖線の総論を学びます。第2回は、国立駅から玉川上水方向の崖線付近を、第3回は多摩蘭坂から国分寺駅への崖線付近を歩きます。

**第1回 「いまあらためて〈崖線〉を考える」(座学)**

とき 5月27日(日)朝10時~昼12時

ところ 公民館 3階講座室

※芳賀 ひらく『江戸の崖 東京の崖』(講談社)をお持ちの方はご持参ください。

**第2・3回 フィールドワーク**

とき ①6月10日(日)朝9時~昼12時ごろ

②6月24日(日)朝9時~昼12時ごろ

※少雨決行。ただし荒天の際は中止。

集合・解散 ①国立駅北口集合

けやき台団地解散予定

②国立駅南口集合(バスで大学寮前に移動)

国分寺駅解散予定

持ち物等 歩きやすい服装、飲み物、筆記用具

※多少の高低差のあるコースを歩きますので、ご注意ください。

定員 15名(原則3回続けて参加できる方、申込先着順)

申込先 5月8日(火)朝9時~

公民館 ☎(572) 5141

協力 国立まなびあるきの会

崖線は語らずとも、河川が大地を削るといふ自然の壮大な営み、その凹凸を利用する人々の知恵、それらの営みが粛々と続いているという歴史の流れを感じさせてくれます。



国立市公民館では昨年・一昨年に、地域史講座・フィールドワーク「くにたちの市境を歩く」で国立市の東西南北の市境を歩きました。この内、国分寺崖線が市境になっている所もありました。また、



東児童公園【国分寺崖線】

国立市の随所に凹凸地形があることを見聞しました。今回その発展編として、国立市に関連する3本の崖線を歩く地域史講座「くにたちの崖線を歩く」を開催します。



富士見台第三団地【立川崖線】

**緑化ボランティア募集**

**公民館の緑化活動に参加しませんか**

ボランティアの方々のご協力により、公民館の緑化活動に取り組んでいます。活動にご興味のある方、協力していただける方は公民館までご連絡ください。



ノースポール



スナップエンドウ



活動内容: 植木の剪定、グリーンカーテンの設置、草花の栽培・手入れ、敷地内の除草など

活動頻度: 月2回程度(水曜日1回、土曜日1回)



おんだし【青柳崖線】

個々の坂に対する認識は、崖線を学ぶことによって線続きになり、それが3本を有する面に、そして階段状の3次元の立体へと広がり、さらにそれらが脈々と時間的に繋がっているという4次元の世界に

※国立まなびあるきの会は、二〇一一年の公民館の地域史講座「まなびあるき」を受講した人が中心になって、多摩地域の魅力を調べながらウォーキング活動をしているサークルです。

ぜひこの機会に国立市の崖線を「国立まなびあるきの会」と一緒に学んで歩きましょう。

拡張していくことと思います。この知の級数的広がりは学ぶことの醍醐味だと思っています。普段見慣れた風景も崖線という視線で見ると、また違った見方になるかも知れません。



監督・原作・脚本 フランソワ・トリュフォー  
撮影 アンリ・ドカエ 音楽 ジャン・コンスタンタン  
出演 ジャン・ピエール・レオ、クレール・モーリエ、アルベール・レミ、ジャンヌ・モローほか



仏ヌーベル・ヴァーグを代表する監督の一人であるフランソワ・トリュフォーの長編第一作。不登校・家出・盗みを繰り返し、少年院に送られてしまう12歳のアントワヌ少年(自身の少年時代がモデルだという)の、多感で繊細ゆえに周囲と馴染めない孤独な心を瑞々しい演出で捉えた名作。トリュフォーはこのデビュー作でいきなりカンヌ映画祭監督賞を受賞、一躍その名を世界に知らしめた。

とき 5月27日(日) 昼2時～(開場1時)  
ところ 公民館 地下ホール 定員 85名(当日先着順)  
\*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

〈図書室のつどい〉  
**新聞の嘘を見抜く**  
～「ポスト真実」時代のメディア・リテラシー～

お話 徳山 喜雄 (ジャーナリスト、立正大学)

客観的事実よりも感情に強く訴えるほうが、世論形成に影響する「ポスト真実」の時代。新聞は部数の落ち込みが激しいだけでなく、政権に近い新聞とそうでない新聞との間に深い亀裂が走り、それを政権が利用するといった事態も生まれている。新聞ははたして「終わった」メディアなのか……。長年培われた構造上の問題から生まれる新聞報道の作為、不作為の嘘を検証し、より有効に情報を得るためのアドバイスを伺いたいと思います。

〈徳山さんの本〉

表題作(平凡社)の他、『安倍官邸と新聞―「二極化する報道」の危機』、『「朝日新聞」問題』(集英社)ほか多数。

とき 5月19日(土) 昼3時～5時  
ところ 公民館 講座室 定員 35名(当日先着順)  
\*申し込みは不要です。ご自由においでください。

親子で遊ぼう・考えよう

**部屋いっぱいの風船で遊ぼう!**

部屋いっぱいの風船で遊みましょう。前半は親子で風船を使った運動遊びを行い、後半はたくさんの風船の中で自由に遊べます。身近な素材である風船でいろいろな遊びを試みましょう!

講師 山田 修平  
(NPO法人東京学芸大こども未来研究所)

とき 5月20日(日) 朝10時～昼12時  
ところ 公民館 地下ホール  
持ち物 ハンドタオル、飲み物、動きやすい服装  
対象 子ども(2歳以上～小学生)と保護者  
定員 20組(申込先着順)  
申込先 5月8日(火)朝9時～  
公民館 ☎(572) 5141

\*この講座は、さまざまな遊びをとおして子どもとふれあい、他の親子や異年齢の子どもたちとの交流をとおして、大人として、保護者としてすべきことは何かを感じ取り、考えていく機会となるよう実施しています。

**社会体育事業**  
**「街を・山を歩く」について**

〈事業の趣旨〉この事業は、社会体育事業として市民の健康づくり、コミュニティづくりの一環として事業を実施しています。〈今年度の事業実施について〉年4回の事業開催を予定しており、開催案内は公民館だよりでお知らせします。第1回目は下記の通り開催します。

**「街を・山を歩く」第1回**

日時 5月29日(火)〈雨天中止〉  
集合 国立駅北口 朝9時  
実施方面 国分寺方面(距離:約12キロ 高低差なし)  
対象 市内在住、在勤者  
※行程はウォーキング初心者向けです。  
チラシ 5月14日(月)から市役所3階生涯学習課、市民総合体育館、公民館、北・南市民プラザで配布します。  
申し込み方法 チラシの内容(日程、コース、申込方法等)を確認のうえ、5月15日(火)から24日(木)の期間に下記までお申し込みください。  
申込・問合せ先 教育委員会 生涯学習課  
社会体育担当 ☎(576) 2107 (直通)

〈古典への招待〉  
**井原西鶴を読む**

講師 水島 英己 (東京純心女子学園講師、詩人)

井原西鶴の「日本永代蔵」、最晩年の「世間胸算用」、遺作の「西鶴置土産」に取められた代表的作品に共通する、人間と経済・欲望の関係を考えます。鋭くとらえられた三百三十年前の元禄期「浮世」の実相は現代社会の諸問題を予見し、笑っているようです。西鶴の批評精神を、原文を通して読みとっていきます。

〈使用するテキスト〉

お持ちのものをご用意ください。新規にご購入の場合は、『新版 日本永代蔵』(堀切実 訳注・角川ソフィア文庫)をご用意ください。

とき 5月25日、6月8日、22日、7月6日、20日  
(全5回) いずれも金曜日、昼2時～4時  
ところ 公民館 3階講座室 定員 25名(申込先着順)  
申込先 5月10日(木)朝9時～  
公民館☎(572) 5141

〈自然講座〉  
**くにたちの蝶を探してみよう!**

初夏の花々が咲き始めてきました。蝶もたくさん飛んでいます。この時期に、くにたちではどんな蝶を見ることができるのでしょうか。蝶の特徴や生態を知ること、野外観察がもっと楽しくなるかもしれません。

30年以上も蝶を追いかけている佐伯さんをお招きし、前半は城山周辺で蝶を探しながら観察会、後半は郷土文化館で、日本各地のめずらしい蝶を撮影した写真を見ながら、観察の仕方や蝶に関する数多くのお話を伺います。

講師 佐伯 元行 (国立あおとり保育園 園長)

とき 6月10日(日)朝9時半～昼12時半頃  
場所 城山周辺(観察会)と郷土文化館(座学)  
※雨天の場合は座学のみとなります。

集合・解散 郷土文化館前  
持ち物 帽子、タオル、飲み物、虫よけ、筆記用具  
定員 15名(申込先着順)  
申込先 5月11日(金)朝9時～  
公民館☎(572) 5141

■公民館費の当初予算内訳

単位：千円

科目	29年度予算	30年度予算	比較増減
公民館総務費	87,900	89,492	1,592
人件費	62,651	63,109	458
維持管理費	25,249	26,383	1,134
公民館事業費	30,247	32,201	1,954
主催事業費	17,438	17,748	310
広報費	6,722	6,849	127
図書室費	3,438	3,411	-27
若者支援費	2,649	4,193	1,544
計	118,147	121,693	3,546

公民館予算は、1億2,169万3千円で内訳は表のとおりです。前年度と比較して354万6千円の増額となりました。主な理由は、公民館外壁補修改修工事実施設計委託及び学習支援の生徒数増に伴う謝礼の増加です。

■一般会計予算

314億7,689万5千円 (前年度比24億4,689万5千円増)

■教育費総額

28億4,559万3千円 (前年度比4億8,168万3千円増)

■公民館費

1億2,169万3千円 (前年度比354万6千円増)

公民館30年度予算について

公民館運営審議会報告

3月27日(火)第17回定例会を開催。委員14名、館長、職員2名出席。傍聴者2名。

公民館人事について

館長人事は異動なしとの報告。職員1名文部科学省への派遣、1名退職との報告。

前回議事録確認

報告事項

○公民館だより編集研究委員会  
2月号の「映像で見る1964年東京オリンピック前夜」はタイムリーでも通じる課題が描かれ興味深い映画と好評。3月号掲載のふりかえる会の報告については、今後の検証が大切。今後につなげ、またその成果も「公民館だより」に掲載してほしいとの意見。

社会教育委員の会

東京都町村社会教育委員連絡協議会の研修会に向けて話し合い。

東京都公民館連絡協議会

第54回都公連研究大会において、ふりかえる会が意欲的な取り組みとして高く評価された。

協議事項

ふりかえる会を今後どのように生かすかなどを議論し、まとめていくことが重要である。傍聴者の発言について意見を述べあう。今後の取り扱いについて検討。

その他

文部科学省組織再編についての意見書に関しては、その後の動向をみて出すかどうかを検討する。次回定例会は4月10日(火)夜7時15分から。傍聴歓迎。(高木)

公民館運営審議会報告

4月10日(火)第18回定例会を開催。委員14名、館長、職員1名出席。傍聴者6名。

前回議事録確認

報告事項

○公民館人事異動  
異動はあったが、人数は変化なし。公運審担当職員も異動あり。

公民館だより編集研究委員会

700号記念特集号に向け、若い世代が「公民館だより」をどう読んでいくのか、どのような紙面だと親しみやすいのかなど座談会を3月に実施した。出された意見を参考に今後の方向性も記載したい。

東京都公民館連絡協議会

第54回都公連研究大会の報告について、狛江市がまとめてホームページに掲載。

協議事項

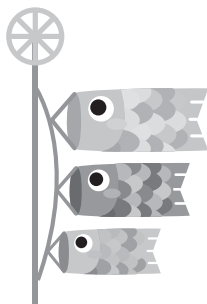
傍聴者の発言について

第16回定例会(2月)の傍聴者発言について、会議録への記載と今後の傍聴者発言の扱いを議論。次回、第16回の会議録を確認しながら、再議論する。

○今後のスケジュール等について10月までのスケジュール案をもとに、進め方を議論。今期の成果として、1月に実施した「市民と職員で『学び』をふりかえる会」についてふりかえり、議論を重ねた上で、10月までに報告をまとめる。また、「31期のまとめ」についても、夏ごろより準備をはじめると、作成の日程について議論。

次回定例会は5月8日(火)夜7時15分から。傍聴歓迎。(鍋田)

# ひろば



## 「二美会」会員募集

健康なからだで毎日を楽しく過ごす為に私達と一緒に、よさこいを踊りませんか。  
初心者の方にも親切丁寧に指導いたします。

日時 毎週火曜、木曜、土曜  
場所 公民館他  
連絡先 石川(574) 5859

## 今月の公民館 (5月、6月初)

- \*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。
- 10日(木) 夜 くにたちブッククラブ
- 19日(土) 昼\*図書室のつどい
- 20日(日) 朝 親子で遊ぼう・考えよう
- 25日(金) 昼~古典への招待
- 27日(日) 朝~地域史講座
- 27日(日) 昼\* CINEVOX 公民館映画会
- 6月10日(日) 朝 自然講座

## ラビッツテニスクラブ会員募集

緑の樹々に囲まれたコートでテニスを楽しみませんか。主に基礎的な練習とゲームを通してシェイプアップを目指しましょう。テニスが好きな女性限定。

日時 毎週月曜日朝10時~12時  
場所 谷保コート  
連絡先 手塚(090) 3432 8464

## サッカーしよう!!メンバー募集

4×8キッカーズは国立四小の子供達を中心に毎週水曜と月一回土曜の放課後楽しく練習。無料体験随時受付!男女問わず運動好きな子大歓迎!お気軽にご連絡を。

日時 毎週水曜日昼3時半~5時  
場所 第四小学校 校庭  
連絡先 谷口(574) 1299

## 江戸庶民の暮らしを知る会

江戸時代の人は何を食べていたの?仕事や住居は?結婚は?江戸の人達の暮らしを面白く知ろう!講師はNHKラジオでお馴染み、作家の稲田和浩氏。

日時 5月19日(土)夜7時半~  
場所 公民館 3階講座室  
連絡先 藤田(090) 9207 4054

## カラオケを楽しむ会

今年でカラオケを楽しむ会の発表会は20回目を迎える事が出来ました。皆様の応援の賜物と感謝しております。前回同様皆様のご来場を心まことにしております。

日時 5月20日(日)朝10時半~  
場所 芸小ホール  
連絡先 高橋(572) 0806

## ダンスパーティー鹿鳴館へお誘い

本会は社交ダンスを通じて健康寿命の増進と親睦、元気に楽しくをモットウにしています。気軽に遊びに来て下さい。スタッフ一同お待ちしております。

日時 5月20日(日)昼1時15分~  
場所 福祉会館 4階大ホール  
連絡先 細田(576) 1367

## 国立絵画グループ展

春の絵画展を開催いたします。絵の好きな方、会場へお越し下さい。楽しい絵がいっぱいです。

日時 5月22日(火)昼1時~27日(日)まで。23日(水)以降は朝10時~夕5時。  
場所 公民館 市民交流ロビー  
連絡先 中村(576) 2918

## あなたのお話し聴きます!!

心配ごと、思い出話し、グチャな何でも話してみませんか!一対一でお聴きします。心がスッキリします。予約可。当日受付昼3時まで。無料。(ポランティアセンター)

日時 5月25日(金)昼1時~4時  
場所 福祉会館 1階  
連絡先 みみずく(576) 3223

## 第21回くいしんぼクラブ

台湾の端午節に食べる粽をいっしょに作りましょう。材料費800円。ゴミ袋とふきんをご持参ください。

日時 5月26日(土)昼1時~  
場所 福祉会館 料理講習室  
連絡先 八宮(571) 1007

## 〈サークル訪問320〉 くいしんぼクラブ

今日の先生はタイからいらしたナットさん。教えてくれる料理は、トムヤムガイ、春雨とエビのサラダ、そしてカボチャとタピオカとココナツミルクのデザートです。福祉会館の料理講習室に、今日はいつともより多めの20人以上が集まり、初めに調理台でナットさんから料理の説明を聞きます。

「トムヤムクンのクン(えび)の代わりに鶏肉を使うので、トムヤムガイになります!」「タイ料理に欠かせないレモングラスは斜めに切つて、こぶみかん(カワイア・ライム)の葉っぱは、真ん中の筋を残してちぎります」手早く実演をしながらのナットさんの説明に、葉をみんで嗅ぐと「香辛料の香りがするね」など感想が飛び交います。その後、4つのグループに分かれて、調理に入り、ナットさんはそこを回って、「もう少しレモン汁を入れたほうがいいですね」など、アドバイスしてくれます。

このくいしんぼクラブは、20年ほど前に一橋大学の留学生を対象とした国際交流会を母体に生まれ、留学生から自国の自慢料理や自分

のお母さんの味を覚えてもらうという会です。10年くらい前から公民館の日本語講座に参加している人たちにも教えてもらっているそう。もう20年も参加している人がいる一方、今回初参加の人も!母娘で参加されている娘さんは、韓国出身の方と韓国語でもおしゃべりする等、国際的な場面もみられました。一緒に料理をするうちに和気あいあいとした雰囲気。最後は、先生の味と食べ比べながら、おいしくいただきました。

いろんな国の家庭料理を作つてみたい方は、ぜひご参加を……。日時 隔月(第3土曜日昼1時)場所 福祉会館 料理講習室連絡先 八宮(571) 1007

## 〈文・写真 錦田 美緒〉



先生のナットさん(右端)と和気あいあい